

銀行名	福岡銀行
タイトル	取引先の海外進出支援
取組み内容	【取組内容】 <u>取引先のタイにおける日本食レストラン進出支援</u> ■ A社について ➤ 和食レストラン運営会社。 ■ 進出概要 ➤ 当社は従前から海外展開をしているが、今回初めてタイへ販路拡大を計画 ■ 具体的サポート内容 ➤ 当行グローバルソリューション部行員とバンコク駐在員事務所 2 名が、当社本社の戦略や資金調達について情報を共有し以下をサポート (店舗開業にあたって/バンコク駐在員事務所) ・ 店舗立地選定にあたり、現地物件の視察をアテンド。 ・ 既にタイ進出している日系レストラン運営者の紹介（情報交換の場提供）。 ・ 業者紹介（店舗内装、仕入先など）。 (金融機関取引・資金調達にあたって/グローバルソリューション部) ・ 現地銀行での口座開設、資本金送金手続を案内。 ・ 設備資金及び運転資金として、タイバーツ建のクロスボーダー融資を実行。 ■ 取組効果 ➤ 駐在員事務所との連携により、店舗オープンや現地銀行との取引開始などスムーズに手続きが完了 ➤ 現地通貨建ての資金調達による為替リスクの排除 以上

銀行名	福岡銀行
タイトル	農業ファンドを活用した「農業と福祉」の支援
取組み内容	【経緯】 • B社は平成26年に社会福祉法人C社（クリニック・障がい者就労支援施設・高齢者介護施設等を運営）が行っていた農業生産部門（ゴボウ生産）を独立させ、「生産規模の拡大」と「ゴボウの高付加価値化」を目的に設立した農業法人。 • B社は地域の耕作放棄地を活用し農業生産を行い、農作業は障がい者就労支援の一環として、C社に通所・入所する障がい者の方に委託して行っている。 • 従前よりC社と取引のあった当行は、B社が今後ゴボウの付加価値向上と障がい者就労機会の拡大のために、ゴボウの加工事業を本格的に開始するにあたり相談を受けたもの。 【取組内容】 • 新事業展開にあたり、事業計画策定支援等を行い、当行と日本政策金融公庫とが共同で設立した「F F G 農業法人成長支援ファンド」よりB社に出資。出資後、販路拡大支援・商品開発に関するアドバイザー紹介等を実施。 【効果】 • ファンド資金を活用し、加工場を建設し加工事業をスタート。 • 当行主催の商談会への参加や、当行ネットワークを通じたビジネスマッチング等により販路拡大に繋げている。 • 月次の売上状況等の把握について金融機関からアドバイスを受けることで、経営管理体制が構築される。 <概要図> <pre> graph TD B[B社 ・ゴボウの生産 ・ゴボウの加工販売] C[C社 ・障がい者就労支援他] FFG[FFG 農業法人成長 支援ファンド] FB[福岡銀行] JCF[日本政策金融公庫] B -- "農作業委託" --> C C -- "障がい者派遣" --> B FFG -- "出資" --> B FB -- "出資" --> FFG JCF -- "出資" --> FFG </pre>

銀行名	福岡銀行
タイトル	中小企業再生支援協議会と連携した取引先の再生支援
取組み内容	・製造業を営むD社グループは、取引先の工場閉鎖等の影響により収益が急速に悪化し、大幅な債務超過の状況にあった。 ・金融支援要請を受けた当行は、 ① D社が希望するリスケジュールでは抜本的な解決が図れないこと ② 主要取引先である大手企業による営業面、人材面での再生支援があること ③ 計画は主要取引先からの発注計画を基に作成され蓋然性が高いこと などから、取引金融機関との交渉をスムーズに進めるため、中小企業再生支援協議会へ相談。 ・D社への支援スキームは以下の通り。 ① 取引行協調でのDD Sによる支援 ② 残債の一本化 ③ 設備投資資金の実行 ・取引行各行の負担の衡平性を確保するため、DD Sは残高プロラタでの取り組みとした。 ・主導して中小企業再生支援協議会へ相談をするとともに、D社の再建を積極的に支援し、D社の今後の再チャレンジに大きく寄与することとなった。

銀行名	福岡銀行
タイトル	震災復興支援 熊本物産カタログの作成
取組み内容	【取組内容】 ● 福岡銀行では、熊本地震で被災された企業を支援するため、熊本県物産振興協会と連携して、物産販売を支援するカタログ「くまもとのお中元～熊本の想いをカタチにして」を作成しました。 ● 行員や家族にお中元として購入を呼びかけるとともに、地方銀行数行に対してカタログを送付し協力をお願いしました。 ● 本カタログには、熊本銘菓やあか牛・馬刺し、焼酎などの熊本県特産品を掲載し、当行やグループ行とお取引のない企業も紹介しております。 ● 今後も、地元百貨店と共同での熊本物産展や台湾での商談会を開催するなど、あらゆるネットワークを活用して、引き続き復興支援に取り組んでまいります。 以上

銀行名	福岡銀行
タイトル	「みんなに優しい」銀行を目指して～ユニバーサルマナー検定3級講座の受講開始
取組み内容	ふくおかフィナンシャルグループ（福岡銀行、熊本銀行、親和銀行）では、「みんなに優しい」銀行を目指して、ユニバーサルデザインの視点で、すべての人に使いやすい、心地よさ・快適さを感じていただけるような店舗づくりやサービスの提供に取り組んでいます。 ユニバーサルデザインでは、「ハード」「ソフト」「ヒューマン」のそれぞれの面からサービス向上に向けた取組みを行っています。 昨年度は、平成28年4月1日から施行される「障害者差別解消法」を踏まえ、「ヒューマン」面の取組みを強化しました。障がい者や高齢のお客様などに対し、行員・スタッフがお客さまに寄り添った応対力を高めていくため、27年7月から「ユニバーサルマナー検定3級」講座を導入しました。 検定講座の内容は、障がい者や高齢者など、多様なサポートを必要とする方々に対して、様々な人々の目線で考え、行動することをマナーとして身につけることを目的としています。 これまで障がい者が窓口に来店された際に、「何かをしてあげたい」と思っただけでも「何をどうすればよいかわからない」といった迷いで一歩が踏み出せなかった経験を持っていた行員も数多く、7月の講座開講時は申込者が殺到しました。以降28年3月まで、計8回の開催を行い、約600名の受講者＝資格取得者が誕生しました。加えて、本年の新入行員約380名も研修期間中に同講座を受講完了しています。